

平成30年度 行政評価事業別シート

<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成						
全体計画			経費区分	—	内線	3622							
事務事業名	4315 文化財保存活用事業												
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進												
予算 科目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">会計</td> <td>01 一般会計</td> </tr> <tr> <td>科目</td> <td>100605 教育費・社会教育費・文化財保護費</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>020000 文化財保存活用事業</td> </tr> </table>							会計	01 一般会計	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費	事業	020000 文化財保存活用事業
会計	01 一般会計												
科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費												
事業	020000 文化財保存活用事業												
事業目的	事業概要・効果												
文化財を、本来の姿に近いかたちで後世に伝えるとともに、その文化財が、市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び、指定文化財の公開を行い、すべての情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。	「旧越家住宅」、「旧園里学校」等の適切な維持管理等により文化財を保護するとともに、デジタルアーカイブの充実や、市ホームページ・各種メディアへの情報発信や、各種講演などによる文化財の活用を図る。また、福井敬一絵画修復、旧小田切家住宅の書画等の記録保存、仏像調査報告書の刊行により、文化財の保存と活用を図る。												

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ウェブサイト「信州須坂のおたから」の拡充などを通じての各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図っている。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。

指標名	デジタルアーカイブ「信州須坂のおたから」による文化財などの公開				
算式	累計公開件数				単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標 850	900	950	980	1,000
実績	830	834			
指標選定の理由	地域の歴史文化の保存活用				
最終年度目標の根拠	継続的取り組みの中での目標の目安				
指標名					
算式					単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標 850	900	950	980	1,000
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標 850	900	950	980	1,000
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		11,626	9,513
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	188	62
一般財源		11,438	9,451
人 員 人 員 コス ト	正規職員	0.7	0.6
	嘱託職員	1.0	1.5
	臨時職員	0.0	0.0
	正規職員	5,004.3	4,289.4
	嘱託職員	2,766.0	4,149.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,770.3	8,438.4
	市民一人当たりの経費	0.4	0.3
総額		19,396.3	17,951.4

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	498	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼453、各種講座等での講師謝礼559
11節 需用費	1,572	文化財各種修繕559、旧越家住宅光熱水費409、消耗品188、燃料費38、食糧費5、国立学校パンフ等印刷373
13節 委託費	2,510	文化財維持管理に係る委託850、文化財保存活用倉庫に係る警備委託402、樹木保護に係る委託818、除草等シルバー委託440
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,153	堀直虎没後150年事業負担金3,000、鎧塚まつり負担金450、文化財保存活用補助金703
その他	2,893	報酬2,154ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	545	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼510、各種講座等での講師謝礼35
11節 需用費	1,833	文化財各種修繕等704、旧越家住宅光熱水費900、消耗品184、燃料費33、食糧費33
13節 委託費	2,631	文化財維持管理に係る委託872、文化財保存活用倉庫に係る警備委託441、市指定天然記念物の養生に係る委託302 ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,450	文化財保存活用補助金1,000、八丁鎧塚まつり共催負担金450
その他	3,054	嘱託職員報酬2,220、報償費555 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	国民並びに市民共有の財産である文化財の保存は、市行政の責務である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	旧越家住宅の駐車場車止めの改修など、市民要望に応えている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国又は県指定の文化財については、別途補助金を活用して整備を進める	

振り返り（決算年度の取組み課題）

文化財の適切な維持管理に努めた

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	2次評価	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント		
'信州須坂のおたから'の充実など文化財の保存・活用を図り、文化財に対する市民の理解を更に深める。		文化財の保存と活用のバランスをとりながら、歴史・文化を大切にしたまちづくりを進める。		

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント